

THE RECORD 5

1999
No.474

- スターデジオ訴訟経過報告
- 平成11年度事業計画（概要）
- 平成11年度文化庁著作権セミナー
- 統計資料—レコード種類別カタログ数

著作権関連 その他

スターデジオ訴訟とその成果 (中間報告)

(社)日本芸能実演家団体協議会、(社)日本レコード協会、(社)音楽出版社協会、(社)日本音楽事業者協会及び(社)音楽制作者連盟の5団体による『スターデジオ訴訟』について、現在の訴訟の状況と訴訟提起による成果について報告します。

1. 訴訟の中間報告

- (1) 平成10年7月28日にレコード会社9社、同年8月28日にレコード会社8社を原告として、レコード製作者の複製権侵害を理由とした放送の差し止めと損害賠償を求める訴訟を東京地方裁判所に提起しました。被告は、第一次訴訟では第一興商及び日本デジタル放送サービス (SKY Perfec TV)、第二次訴訟では第一興商です。
- (2) 両訴訟とも現在まで4回の口頭弁論を終了しましたが、これまで主に『スターデジオ』は放送に該当しないレコード配信サービスであるか、また、レコード協会による補助参加は適法かという争点を巡って激しい攻防が展開されてきました。このうち、レコード協会の訴訟参加について、3月2日裁判所は、レコード協会には法律上の利害関係があり補助参加の利益があると判断し、原告各レコード会社への補助参加を認める決定を下しました。
- (3) 訴訟の見通し
先行した第一次訴訟については、現在までに本題である『スターデジオ』は放送に該当しないレコード配信サービスであるかという争点について原告側の主張立証がほぼ終了し、被告側の最終的な反論を待っている状況であり、早ければ年内にも裁判所の判決が下されることが予想されます。

1. 訴訟提起による成果

- (1) 『スターデジオ』送信サービスの変化
 - ① FAXサービス・訴訟提起後の昨年8月中旬、各曲毎の開始時間を削除。
 - ・公開チャンネル数を削減 (70ch → 63ch → 49ch)。
 - ② パンフレット「MDへ接続すれば…」「CDなみの音質」という表現を削除。
- (2) 新たに参入する衛星放送事業者等への牽制効果
第一興商自体が昨年8月から予定していたCATVへの配信を行っていない他、同様のサービス形態をとる予定の事業者を牽制する効果が認められます。
- (3) デジタル公衆送信権立法化に向けた活動
 - ① 音楽議員連盟総会における決議
3月9日に開催された音楽議員連盟 (櫻内義雄会長、超党派国会議員71名で組織) の総会において、レコード製作者及び実演家にデジタル公衆送信権を与えることを積極的に検討することが決議されました。
 - ② 著作権審議会マルチメディア小委員会放送事業者等の権利に関するワーキンググループの設置 (座長 青山学院大学半田正夫教授)
1月21日、放送事業者等の権利の保護の在り方等について検討するため、マルチメディア小委員会内にワーキンググループが設置され、放送に関する実演家・レコード製作者の権利に関する事項が主要な検討事項の一つとしてあげられています。又、このワーキンググループの委員として、(社)日本芸能実演家団体協議会から松本伸二常任理事が、(社)日本レコード協会から千葉卓男常務理事が、それぞれ任命されました。

チェコ製海賊版CD訴訟に関する 東京地裁判決下る

日本コロムビア等国内大手レコード会社5社が、エー・アール・シー等に対し、権利者の許諾なく違法なC

D、カセット・テープ約51万枚/巻を日本国内に輸入・頒布していたとして、輸入・頒布の禁止と損害賠償を求めていた事件で、4月14日、東京地方裁判所は、原告側の請求を全面的に認め、被告エー・アール・シー等に対し、輸入・頒布の禁止と損害賠償を認める判決を下しました。訴訟の概要は以下の通りです。

1. 原告

- (1) 日本コロムビア株式会社
- (2) ビクターエンタテインメント株式会社
- (3) キングレコード株式会社
- (4) テイチク株式会社
- (5) ポリドール株式会社

2. 被告

- (1) エー・アール・シー株式会社
(本社：東京都新宿区 代表：加茂聖詞)
- (2) 株式会社エフアイシー
(本社：東京都港区 代表：加茂聖詞)
- (3) 加茂聖詞
(上記二社代表)
- (4) 株式会社総通
(本社：大阪市中央区 代表：喜多俊憲)

3. 判決の骨子

- (1) 被告エー・アール・シー及びエフアイシーは、対象CD/カセットテープを輸入し、又は頒布してはならない。
- (2) 被告総通は、対象CD/カセットテープを頒布してはならない。
- (3) 被告エー・アール・シー、エフアイシー及び総通は、対象CD/カセットテープを廃棄せよ。
- (4) 被告エー・アール・シー、エフアイシー、加茂聖詞及び総通は、原告らに対し損害賠償金を支払え。

4. 事件の概要と争点

被告エー・アール・シー及びエフアイシーは、チェコで製造し同地の著作権管理団体OSAを通じて著作権処理した本件商品を、著作隣接権者 (実演家) の許諾なく日本国内に輸入し、頒布していたものです。又、被告総通は、通信販売「フェーマスレコードクラブ」により本件商品を頒布していたものです。

対象商品に収録されている音源は、旧著作権法下で原告らにより録音・発売された音源で、原告らは契約によって実演の権利譲渡を受け、原告らが実演家の権利を有していると主張したのに対し、被告らは旧著作権法下のレコードに収録された実演家の権利は、レコードに固定された時点で消滅していると主張して争っていたものです。

なお、対象商品は『ゴールデンヒット歌謡シリーズ』『昭和・ゴールデン歌謡シリーズ』等55タイトルで、ミス・コロムビア「秋の銀座」(1939年発行)、藤山一郎「夢淡き東京」(1947年発行)、渡辺はまこ「忘れちゃいやヨ」(1936年発行)、ディック・ミネ「人生の並木路」(1937年発行)、岡晴夫「上海の花売娘」(1939年発行)、東海林太郎「赤城の子守唄」(1934年発行)等が収録されていました。

当協会及び会員会社は、今後も国内外の権利者と連携をとりながら、違法複製問題に積極的に断固たる姿勢で取り組んでいきます。

「不法録音カラオケテープ撲滅キャンペーン」 いよいよ全国展開本格化

カラオケ対策委員会が展開する同キャンペーン活動において、当協会は4月1日付で札幌と仙台に「カラオケ対策専任調査室」を設置、また東京の調査室長を1名増員しました。

これにより、「全国6調査室/計9調査室長体制 (札幌1・仙台1・東京3・名古屋1・大阪2・福岡1名)」となり、カラオケ教室への著作権思想の普及・啓蒙活動、違法教室への指導・警告活動が、いよいよ本格的に全国展開されます。

文化庁芸術作品賞発表

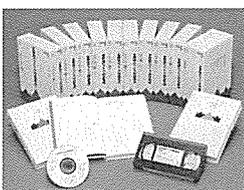
平成10年度 文化庁芸術作品賞発表

3月25日、東京都台東区上野公園内・日本芸術院会館にて、平成10年度（第14回）の文化庁芸術作品賞の授賞式が行われました。レコード部門では、一部（邦楽系音楽等）2作品、二部（洋楽系音楽等）2作品の計4作品が選ばれました。以下に、作品一覧に掲載されたコメントと共に4作品をご紹介します。

■一部 邦楽系音楽等

〔萱野茂のアイヌ神話集成〕

ビクターエンタテインメント株式会社



アイヌ民族はアイヌ文化の真髄を表すきわめて多くの語り物や歌を口伝で伝えてきた。それらが急速に失われ始めた昭和30年代から萱野茂は私費で録音しつづけてきた。この作品はその貴重な音源を11枚のCDに収め、それに対応するローマ字表記・カタカナ表記・日本語訳などを本の形で付けたものである。これは日本文化にとり非常に貴重な、CDの記録性と普及性を効果的に活用したきわめて質の高い作品である。

〔ハイパー「室町歌謡組曲」BASARASARA〕

株式会社フォンテック



現代に生きる狂言歌謡21曲を、組曲の形にまとめたものである。構成曲は、古典と復原のほか新しい作曲もあり、その詞章の多くは、現代の世相を描き出している。いずれの曲も、狂言の洗練された技法によって朗々とうたいあげ、同時代の庶民の日常的な感覚を直接映し出すという、狂言本来の姿を示すことに成功した。音楽的にも、狂言歌謡のさまざまなリズムを効果的に配し、囃子も巧みに組み合わせて、多様性を示している。

■二部 洋楽系音楽等

〔堤剛／チェロをめぐる日本の響き〕

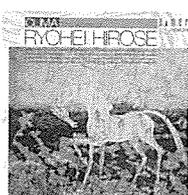
株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント



名実共に円熟期を迎えた堤剛が企画した1997年秋の2コンサートの12作品から、5人（一柳慧、佐藤敏直、間宮芳生、松村禎三、湯浅譲二）のとりどりの作風の5曲が抽出され、1998年2月に新たに録音された入魂の1枚である。わが国の最前線のチェロ作品の創造シーンに最も深く関わってきた堤は、楽譜の内面に深く分け入り、その上で自らの想像力に任せた自在の“うた”を紡ぎ出し、現代のチェロの原風景を描き当てる。

〔クリマ／廣瀬量平の世界〕

株式会社カメラータトウキョウ



地道で着実な作曲活動が続ける廣瀬量平（1930-）の作風の変遷を、1964年の《フルートとピアノのためのソナタ》から1994年のハーブのための《エレギア》まで、30年にわたる室内楽、オーケストラ作品（全11曲）によって展望できるCDであり、独自の形式感

の確立や邦楽器との取り組みなども含め、廣瀬のさまざまな面が包括的に捉えられている点、単なる作品集を超えた企画性も評価できる。

「SDMIポータブル機器WG会議」開催

既報のとおり、第1回SDMI全体会議において「ポータブル機器ワーキンググループ（PDWG）」が設立されました。これは、フラッシュメモリなどを使用したポータブル録音機器におけるコンテンツ保護の技術を検討するグループで、今年6月末の仕様発行を目指しています。

第1回PDWG会議は3月5日にロサンゼルスで、そして、第2回は3月18日～19日にワシントンDCで開催されました。第1回会議ではPDWGの議長選出が行われ、ジャック・レイシー氏（AT&T）が選任されました。

2回の会議を経て、ポータブル機器におけるコンテンツ利用や保護の原則、機能上の要件などがまとめられ、技術提案募集の文書（CFP: Call for Proposals）が編纂されました。これに従って応募された技術が次回会議でプレゼンされ、具体的な仕様の検討へと入っていきます。CFPは、SDMIのホームページ（<http://www.sdmi.org>）で自由に閲覧できます。

今後もPDWG会議は、約2週間ごとに開催される予定になっています。

関係官庁人事異動

当協会関係官庁において次の異動がありましたので、お知らせします。（ ）内は前職です。

【文化庁】（4月1日付）

芸術文化課課長補佐

奈良 哲 氏

芸術文化課企画調査係長

神保 綾子 氏

芸術文化課指導普及係長

大西 真一 氏

国際著作権課課長

石野 利和 氏（鳴門市教育委員会教育長）

国際著作権課課長補佐

佐藤 修二 氏（九州大学総務部国際交流課長）

マルチメディア著作権室集中管理係長

塚本 圭二 氏（科学技術庁科学技術振興局科学技術情報課行政情報係長）

なお、

前文化庁国際著作権課課長

岡本 薫 氏は

文部省生涯学習局学習情報課長

前文化庁国際著作権課課長補佐

渡邊 晴美 氏は

文部省放送大学学園事務局参事役

前文化庁著作権課指導調整係長

西村 泰雄 氏は

文部省生涯学習局社会教育課指導研修係長

前文化庁著作権課マルチメディア著作権室集中管理係長

佐々木 秀樹 氏は

文部省学術国際局学術情報課学習情報基盤

整備推進室企画調整係長 へ

それぞれ異動されました。

日本レコード協会平成11年度事業計画（概要）

【重点施策項目】

1. レコード製作者の権益の拡充
2. デジタル技術の利用拡大に伴う諸問題への対応
3. 再販制度存続活動の展開
4. 需要拡大、PR事業の推進
5. 放送二次使用料と私的録音補償金の見直し
6. 国際間の情報収集・交換と諸問題への対応

【1】レコード製作者の権益に関する事業

1. 著作権法改正関連問題の促進（国内消尽の頒布権、デジタル公衆送信権、演奏権、非営利貸与に対する権利の獲得など）
2. レコード二次使用料指定団体業務及び二次使用料関連対策の実施
3. 貸レコード使用料指定団体業務及び貸レコード業対策の実施
4. 私的録音録画補償金の指定管理団体の構成員としての業務
5. 不法複製レコード（海賊版、カラオケ教室無断複製）対策の実施と徹底
6. 私的録音録画補償金制度懇談会への参加協力
7. 文化庁著作権セミナーへの協力
8. 権利執行に関する協力事業協力者会議への参加
9. 著作権情報センター等への参加・協力
10. 不正商品対策協議会への参加・活動
11. デジタル化・ネットワーク化に伴う権利と利用に関する連絡協議会への参加
12. その他、レコード製作者の権益に係る対策の検討・実施

【2】再販制度の存続活動の展開

【3】需要拡大に関する事業

1. 需要拡大キャンペーンの実施
2. 音楽ギフトカード普及対策の実施
3. 日本ゴールドディスク大賞の実施
4. ゴールド・アルバム等の認定
5. ヒットチャート・データの発表
6. 共同ホームページ『Japan-music.or.jp』の運営
7. 洋楽FMフォーラムの開催
8. 見本盤回収プーメランキャンペーンの展開
9. その他需要拡大対策の検討・実施

【4】PR、渉外に関する事業

1. 広報活動の実施
2. 著作権思想の普及
3. レコード週間行事の検討・実施（福祉・厚生施設

へのレコード寄贈他）

4. 大学著作権法講座に対する後援協力
5. その他渉外活動の展開

【5】営業・宣伝に関する事業

1. 需要拡大策の具体的な展開
2. 営業関係諸問題の研究
3. 宣伝関係諸問題の研究
4. 見本盤の有効利用・プーメランキャンペーンの展開

【6】制作に関する事業

1. 制作諸問題の研究
2. 専属アーティスト一覧・レーベル一覧の作成
3. レコード倫理に関する自主規制
4. マスコミ倫理懇談会への参加・交流
5. 文化庁芸術作品賞への協力

【7】税制に関する事業

1. 法人税、消費税等関連税制への対応
2. 税制改正要望の検討
3. 税制研修会の開催

【8】技術に関する事業

1. レコードの権利擁護のための調査・研究及び技術対応策の検討
2. 次世代オーディオに対する具体的要求及び実現化への課題検討
3. ノンパッケージ化に伴う技術諸問題の調査・検討
4. ISRCの実施促進に関する技術支援
5. レコードに関する標準化活動の推進
6. レコードの制作技術・製造技術・品質に関する調査研究及び標準化の推進
7. 資材の需給円滑化と合理化策及び環境問題への対応
8. 消費者保護対策の研究・実施

【9】情報システムに関する事業

1. 「れこーどばん」の普及促進及び運用の円滑化
2. レコード商品マスタの利用拡大策の検討・実施
3. 総合情報ネットワーク化に関する調査・研究（10年度製・配・販オープン情報ネットワーク開発・標準化システム設計事業を反映させた新商品データベースの検討）

【10】総合音楽データベース構築に関する事業

1. 業界EDI（電子データ交換）の確立と総合音楽DB（データベース）の開発・構築
2. 総合音楽DBの活用による試聴システムの開発と

実証実験の実施

3. 総合音楽DBの放送利用及びモニターシステムによる二次使用料徴収と分配システムの研究
4. インターネット・衛星放送等による音楽配信の事業に関する調査・研究
5. 業界連携による音楽情報サービス・ネットワーク(MISN)の推進

【11】調査に関する事業

1. レコードに関する消費者実態調査の検討・実施
2. 業界統計資料の作成・発行
3. 各種関連基礎統計資料の収集・整備
4. 各種報告データ収集などのための電送システム化の研究
5. 各種統計資料の国際的統一基準の研究

【12】ビデオ事業に関する諸問題の研究

1. ビデオ関係諸問題の研究
2. ビデオの需要拡大策の検討・実施

【13】IFPI関係及び国際協力

1. 国際レコード産業連盟(IFPI)、米国レコード協会(RIAA)ほか、海外レコード産業関係機関との連携・協力
(1) IFPI中央理事会、アジア／太平洋地域会議等への参加
(2) SDMI(主導的デジタル音楽保護活動)への参加
(3) IFPI/RIAA技術委員会との連携による技術諸問題への対策協議
2. 国際知的所有権機関(WIPO)の事業及び国際的法的整備検討への参画

【14】アジアの音楽産業問題に関する事業

【15】その他

1. 労政問題の情報交換と調査・研究
2. 同和問題に関する啓蒙活動の推進
3. 国立国会図書館への出版物納品業務の円滑化推進
4. 独占禁止法の遵守マニュアル「独禁法の概要とQ & A集」の周知徹底を図る

平成11年度文化庁著作権セミナー予定

恒例の文化庁と各地教育委員会主催の著作権セミナーが、今年度も以下の7カ所で開催されます。

当協会も例年どおり協賛団体として各地のセミナー

に講師を派遣する予定です。

受講をご希望の方は、それぞれの連絡先にお問い合わせ下さい。

1. 北海道・東北地区

場所：盛岡市勤労福祉会館
期日：11月11日(木)～12日(金)
連絡先：岩手県教育委員会文化課
(TEL：019-651-3111)

2. 関東甲信越静地区

場所：神奈川県立教育センター 講堂
期日：10月28日(木)～29日(金)
連絡先：神奈川県教育庁文化財保護課 普及助成班
(TEL：045-201-1111)

3. 東海・北陸地区

場所：三重県庁 講堂
期日：8月19日(木)～20日(金)
連絡先：三重県生活部文化課 文化振興グループ
(TEL：059-224-2673)

4. 近畿地区

場所：奈良県市町村会館 (大研修室)
期日：5月27日(木)～28日(金)
連絡先：奈良県教育委員会生涯学習課 計画係
(TEL：0742-22-1101)

5. 中国地区

場所：広島県庁 講堂
期日：7月15日(木)～16日(金)
連絡先：広島県県民生活部文化振興室
(TEL：082-228-2111)

6. 四国地区

場所：徳島県郷土文化会館
期日：平成12年2月17日(木)～18日(金)
連絡先：徳島県教育委員会文化財課 企画保護係
(TEL：0886-21-3161)

7. 九州地区

場所：沖縄県立武道館(アリーナ棟)
期日：9月2日(木)～3日(金)
連絡先：沖縄県教育庁文化課 芸術文化係
(TEL：098-866-2731)

著作権法100年記念事業マスタープラン進行中

本年1月に、著作権法100年記念事業推進本部（本部長：有馬朗人文化庁長官）の第2回会議が開催され、昨年末に著作権法100年記念事業実行委員会（委員長：林田秀樹文化庁長官）において検討された、「著作権法100年記念事業マスタープラン（案）」に若干の追加を行ったうえで了承されました。これは、文部省・文化庁、関係団体が行う各種記念事業について、全体の事業計画をとりまとめたもので、これに沿って今年1年を通して各種記念事業が実施される予定です。1月より記念事業は行われておりますが、今回その全容をお知らせいたします。

月	日	事業名	主催者等	事業概要
1	24日～27日	MIDEM JAPAN (於：フランス・カンヌ MIDEM会場)	(社) 音楽出版社協会	フランス・カンヌのMIDEM会場にブースを設け、日本の音楽の紹介をしつつ、著作権法100年、日本の著作権制度をPRする。
	25日	シンポジウム「変革期を迎えた産業と著作権」 (於：キャピトル東急ホテル)	(社) 日本音楽著作権協会	音楽産業の将来像及び著作権管理の在り方について、シンポジウムを開催し、基調講演、パネルディスカッションを行う。
2	13日	著作権法100年記念協賛音楽著作権 遵守大阪大会 (財)大阪国際交流センター	(社) 日本作詞家協会	作詞家としての権利保護の重要性を改めて認識し、また、音楽著作物利用者への啓蒙を目的として記念講演会と、セミナーを開催する。
	16日	フォーラム「著作権法改正とデジタル問題」 (於：明治記念館)	マルチメディアCDコンソーシアム (社) コンピュータソフトウェア著作権協会	デジタル著作物の権利について、正しい認識と理解に基づいた、今後の動向を予測するフォーラムを開催する。
	24日	第27回MPAビジネスセミナー (於：フコク生命ビル)	(社) 音楽出版社協会	音楽産業に関する最新情報を提供し、またその将来の発展の道を模索する機会を与えるとともに、著作権法の役割を再認識するためのセミナーを開催する。
	25日	音楽創生「人生は旅…探し物は見つかりましたか？」 (於：すみだトリフォニーホール)	(社) 日本音楽著作権協会 (社) 日本芸能実演家団体協議会	創作活動の一端として、フォークソングの歌詞にスポットを当てて紹介するコンサートを開催し、著作権・著作隣接権の重要性をアピールする。
3	5日	記念講演会「最近の著作権の動向」 (於：名古屋商工会議所)	名古屋商工会議所 専門図書館中部地区協議会	著作権法100年の歴史を踏まえた「最近の著作権の動向」に関する講演会を開催する。
	19日	<3/19> ミュージックの日全国縦断 コンサート (於：京都清水寺他)	日本音楽家ユニオン	音楽文化の発展を期して、また、著作権思想の普及と事業として、著作権法の重要性をアピールしつつ、コンサートを開く。
	20日～4月4日	グランシップ開館記念 しずおか創造ルネッサンス 99アニメーションワークス〜アニメからデジタル アニメまで (後：静岡コンベンションアークセンター)	グランシップ開館記念実 行委員会 (委員長：静岡 県知事) 後援：動画製作者連盟	アニメーションの歴史の展示、アニメ制作体験コーナーの設置、記念シンポジウムの開催。著作権法100年のコーナーとシンポジウムにおいて著作権法の重要性と理解促進を図る。
	22日	こどもたちへ——ピアノの 大好物 (於：東京紀尾井ホール)	(社) 日本作曲家協議会	こどもたちを対象に、42人の作曲家による自作自演のコンサートを開催しつつ、著作権法の重要性等を判りやすくレクチャーする。
	25日	MPA 音楽著作権ビジネス講演会 (於：虎ノ門パストラル)	(社) 音楽出版社協会	著作権法の歴史を修得することにより、著作権法の理解を深めるとともに、音楽出版業の将来を考えるための講演会を開催する。
4	13日	セミナー「デジタル時代の著作権」 (於：五反田ゆうほうと)	(社) 日本ケーブルテレビ連盟	放送・通信のデジタル時代における著作権処理等に関するセミナーを開催する。
	22～25日	東京国際ブックフェア '99 (於：東京ビッグサイト)	(社) 日本書籍出版協会	著作権法100年記念ブースを設け、我が国の著作権法の歴史と、出版界における著作権問題等についてパネル展示を行う。
	23日	第4回日中著作権シンポジウム「ネ ットワーク化の進展における出版 と著作権」(於：東京ビッグサイト)	(社) 日本書籍出版協会	デジタル化・ネットワーク化の進展の中で、著作権法100年間に、日本と中国の出版界に共通する著作権問題について、討議する。
6	6月～10月	実演家の権利に関する連続 シンポジウム (於：未定)	(社) 日本芸能実演家団体 協議会	実演家の人格権等をテーマに、4回連続したシンポジウムを開催する。
	1日～13日 他	中村歌右衛門と同時代の名 優たち—歌舞伎の至宝展— (於：三越本店他、全国の 数会場)	NHKプロモーション 協力:(社) 日本芸能実演家 団体協議会	中村歌右衛門の業績をパネル等展示する一環として、著作権法100年を記念し、その業績から窺える実演家の著作権法上の権利・地位・意味を明らかにする展示コーナーを設ける。
	9日～12月 3日	1999年音楽著作権管理者養 成講座 (於：虎ノ門パストラル)	(社) 音楽出版社協会	著作権法の実務に必要な知識を修得させることにより、著作権思想の普及を図る等を目的として、研修講座を開講し、著作権法の歴史等について記念講演を行う。
	16日	著作権セミナー 「デジタル時代の写真・ど う使い、どう使われるか」 (於：東京都写真美術館)	全日本写真著作権者同盟	来る21世紀を展望して、デジタル時代の写真著作権の在り方について、セミナーを開催する。
7	19日	舞台芸術フェア1999コンサ ート—音楽創生— (於：オペラ シティコンサートホール)	(社) 日本音楽著作権協会 (社) 日本芸能実演家団体 協議会	舞台芸術における創作活動の一端を紹介しつつコンサートを開き、創作物の保護、著作権・著作隣接権の重要性をアピールしていく。
	22日	記念式典 (於：新国立劇場)	文部省・文化庁	天皇皇后両陛下のご臨席の下、三権の長から祝辞を頂き、天皇陛下よりお言葉を賜る予定。
	22日	記念講演会 (於：新国立劇場)	文化庁	WIPO事務局長カミール・イドリス氏、著作権審議会会長北川善太郎氏より21世紀の著作権制度の在り方等について講演会を開催。

7	22日	記念祝賀会 (於:京王プラザホテル)	著作権法百年記念会	著作権法100年を記念した祝賀会
	23日	著作権法100年記念 「シーマーク・ドリーム」 (於:新国立劇場)	著作権法百年記念会	著作権法・制度の意義等に関するトークショウと著作権法の歴史を100人のスーパースターを通じて、音と映像、語りで綴るショウ。
	27～28日	第6回親と子の夏休み著作権セミナー 「著作権でなに?パソコンで学ぼう!」 (於:株式会社ジャストシステム東京支社内)	(社) コンピュータソフトウェア著作権協会	著作権法100年と学習指導要領の改訂を機に、小、中学生とその保護者を対象に、著作権セミナーを開催し、ゲーム等を通じてソフトウェア著作権の重要性を認識してもらう。
	下旬	「日本の音楽著作権に関わる諸権利」に関するセミナー (於:北京市)	(財) 音楽産業・文化振興財団	中国の音楽関係者等を対象に、日本における音楽著作権について、セミナーを開催する。
8	第1週	シンポジウム「著作権と消費者教育」 (於:早稲田大学井深大記念ホール)	早稲田大学エクステンションセンター (財) 消費者教育支援センター	知的活動の重要性とその尊重を、消費者教育の視点から考えるための記念講演会を開催する。
9	2～3日	著作権実務基礎セミナー (於:国立教育会館)	(社) 日本著作権協議会	著作権の基礎的・初歩的知識を実務に即してセミナーを開催し、記念講演を行う。
	18～10月26日	コンサート・シリーズ 「日本の作曲・21世紀への歩み」 (於:東京紀尾井ホール)	「日本の作曲・21世紀への歩み」実行委員会	戦後の作曲の歩みを総括、展望し、21世紀の創作活動の在り方の方向を示し、また、平成11年は、著作権法100年を記念して、著作権法的重要性をアピールするため、計5回のコンサートを開催する(9年に及ぶコンサートシリーズの2年目)。
	27～28日	カラオケ歴史館&セミナー・シンポジウム「99カラオケ・フェスタ」 (於:虎ノ門パストラル)	全国カラオケ事業者協会	カラオケ歴史館と、音楽著作権の啓蒙を目的にシンポジウム等を開催し、「新時代のカラオケビジネス」をテーマにパネルディスカッションを行う。
10	4日	シンポジウム「21世紀のネットワーク社会と著作権問題」	(社) 音楽電子事業者協会	21世紀を見据え、あるべき「音楽著作権の在り方」について問題提起し、将来のインターネットを通じた音楽の隆盛を提言するシンポジウムを開催し、基調講演、パネルディスカッションの他、記念講演を行う。
	7日	アジア・太平洋地域フォーラム「著作権と新技術」 (於:銀座東武ホテル)	(社) 日本レコード協会	音楽著作権を取り巻く新技術、特にデジタル技術・ネットワーク配信技術とその著作権問題に関するアジア・太平洋地域フォーラムを開催する。
	8日～12日	セミナー「著作権教育と消費者教育」 (於:広島市)	(財) 消費者教育支援センター	学校における著作権教育の意義と実際について、消費者教育の観点から具体的事例に即して、教員を対象にセミナーを開催する。
	下旬	「著作権法100年記念講演会」 (於:未定)	(社) 日本民間放送連盟	著作権研修会において、著作権法100年に関する記念講演会を開催する。
	下旬	「日本のうた」コンサート (於:けやきホール)	(社) 日本作曲家協会	作曲作品を募り、佳曲を選定し、コンサートを開くことにより、作曲を奨励するとともに、著作権法100年を記念し、著作権法思想の普及を図る。
11	16日～19日	著作権協会国際連合(CISAC)国際会議(於:ホテルニューオータニ)	(社) 日本音楽著作権協会	著作権法100年を記念して、CISACの執行委員会、理事会、アジア太平洋委員会を招致し、開催する。
	19日	国際シンポジウム「ニューテクノロジーと著作権」 (於:ホテルニューオータニ)	(社) 日本音楽著作権協会	CISAC会議を機会に、ニューテクノロジーと著作権について、各国の現状と対応等を検討し、国際ルールの構築に関するシンポジウムを開催し、基調講演、パネルディスカッションを行う。

2. 1以外の記念事業 (文化庁)

- ① 記念切手の発行(7月22日)
- ② 著作権法100年史の編纂・発行
- ③ 著作権功労者の顕彰
- ④ 子ども著作権審議会
- ⑤ シンボルマーク、ロゴマーク、イメージキャクター、著作権・著作隣接権標語の制定

(著作権法百年記念会)

- ① 中学生・高校生作文コンクール(実施中)
- ② 著作権法百年記念基金の設立

(関係団体)

- ① 著作権隣接権論文募集(実施中) → (社) 著作権情報センター

- ② コピーライト特集号(6月) → (社) 著作権情報センター
- ③ 中学生向け新聞(毎日中学生新聞、朝日中学生新聞)による著作権思想普及事業の実施(平成11年の1年間月1回解説記事等を掲載する。) → (社) 私的録音補償金管理協会
- ④ 脚本著作権ハンドブックの出版 → (協) 日本シナリオ作家協会
- ⑤ 著作権台帳・著作権台帳CD-ROMの発行 → (社) 日本著作権協議会
- ⑥ オーディオフェア等でのブースの設置 → (社) 日本音楽著作権協会等
- ⑦ 「消費者教育研究」の特集号 → (財) 消費者教育支援センター
- ⑧ 「こどもたちへ——ピアノの大好き」(ピアノ曲の作曲集の記念出版) → (社) 日本作曲家協議会

会議メモ(主なもの)

(4月1日～4月30日)

- 4・6 日本音楽家ユニオン委員会・交渉会議
- 4・7 制作者講習会
インターネット部会サイト運営WG
調査統計部会
- 4・13 日本音楽家ユニオン委員会
日本GD大賞幹事会・演出部会
/NHK合同会議

- 4・14 洋楽著作権講座
宣伝部会
- 4・15 発売日問題物流会社打ち合わせ
発売日問題卸同業会打ち合わせ
著作権部会・幹事会
営業部会
- 4・16 JASRAC委員会
- 4・19 需要拡大委員会WG
- 4・20 業界紙懇談会
インターネット部会
魔盤セールプロジェクト
- 4・20 洋楽宣伝専門部会
- JASRAC委員会
- 4・21 業務委員会
- 4・22 資料専門部会
情報システム部会
- 4・23 理事会
消費者専門部会
ビデオ部会
- 4・26 音楽ギフトカード委員会
- 4・27 法制委員会
- 4・28 品質管理専門部会



HIT CHART DATA

1999年3月度(99年2月21日~99年3月20日)

レコード正味売上げに基づく当協会オフィシャルデータ。

順位	タイトル	アーティスト	発売日	発売元
■邦楽・洋楽合同シングル BEST7				
1.	だんご3兄弟	速水けんたろう/茂森あゆみ/ひまわりキッズ	1999.03.03	PC
2.	Winter, again	GLAY	1999.02.03	PO
3.	やめないで,PURE /BABY LOVE	KinKi Kids	1999.02.24	JE
4.	RESPECT the POWER OF LOVE	安室奈美恵	1999.03.17	AVT
5.	Someday, Someplace	Every Little Thing	1999.03.03	AVT
6.	長いため息のように	the brilliant green	1999.03.10	SME
7.	サヨナラバス	ゆず	1999.03.17	SN
■洋楽シングル BEST7				
1.	Eyes On Me featured in Final Fantasy VIII	フェイ・ウォン	1999.02.24	TO
2.	マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン~タイタニック・愛のテーマ	セリーヌ・ディオン	1998.01.14	SME
3.	テンダー	ブラー	1999.02.17	TO
4.	ティアーズ・イン・ヘヴン	エリック・クラプトン	1997.10.25	WJ
5.	天使のように...	レネ・マーリン	1999.02.17	TO
6.	TO LOVE YOU MORE	セリーヌ・ディオンwithクライズラー&カンパニー	1995.10.21	SME
7.	ピリーヴ	シェール	1999.01.15	WJ
■邦楽・洋楽合同アルバム BEST7				
1.	First Love	宇多田ヒカル	1999.03.10	TO
2.	THE FORCE	T. M. Revolution	1999.03.10	AR
3.	h	hitomi	1999.02.24	AVT
4.	無罪モラトリアム	椎名林檎	1999.02.24	TO
5.	STAFF ROLL	野猿	1999.03.10	AVT
6.	Strange Fruits	Chara	1999.03.17	SME
7.	Don't leave me behind	鈴木あみ	1999.03.17	SME
■クラシックアルバム BEST7				
1.	エデン	サラ・ブライトマン	1999.03.17	TO
2.	カヴァティーナ	村治佳織	1998.11.21	V
3.	シンプリー・バロック	ヨーヨー・マ	1999.01.27	SME
4.	ヨーヨー・マ ベスト・アルバム	ヨーヨー・マ	1998.10.01	SME
5.	ショパン: ピアノ協奏曲第1番、第2番	マルタ・アルゲリッチ(P)	1999.03.17	TO
6.	ヨーヨー・マ・ブレイズ・ピアソラ	ヨーヨー・マ	1997.10.29	SME
7.	モーツァルト: ピアノ協奏曲第20&19番 2台のピアノのための協奏曲	マルタ・アルゲリッチ(P)	1999.02.24	SME
■洋楽アルバム BEST7				
1.	FANMAIL	TLC	1999.03.06	BMG
2.	ダンスマニア・スピード2	バス・ストップ, サラ・ワシントン 他	1999.03.03	TO
3.	13	ブラー	1999.03.08	TO
4.	...Baby, One More Time	ブリトニー・スピアーズ	1999.02.24	AVT
5.	ベザンツ、ビッグス&アストロノウツ	クーラ・シェイカー	1999.02.27	SME
6.	ミスエデュケーション	ローリン・ヒル	1998.08.12	SME
7.	ULTRA DANCE 1	スーパーガール 他	1999.03.03	AVT

※AL: アルファミュージック/AO: アメモラ・オータウン・レコード/AR: アンティノスレコード/AVT: エイベックス/BG: ビーグラムレコーズ/BM: ルームレコーズ/BME: バンダイ・ミュージックエンタテインメント/BMG: BMGジャパン/C: 日本コロムビア/CA: カナリー企画/CR: 日本クラウン/CT: カッティング・エッジ/EP: ゼティマ/EW: イーストウエスト・ジャパン/FH: ファンハウス/FL: フォーライフレコード/JE: ジャニーズ・エンタテインメント/JF: J-FRIENDS P./K: キングレコード/KT: キティエンタープライズ/ME: メルダック/MME: マーキュリー・ミュージックエンタテインメント/PC: ポニーキャニオン/PG: ポリグラム/PI: パイオニアLDC/PO: ポリドール/PS: ポリスター/QT: パルコ/RO: ロックイットレコード/SME: ソニー・ミュージックエンタテインメント/SN: SEHNA & CO./TA: ニュートーラス/TDK: TDKコア/TE: テイチク/TF: トイズ・ファクトリー/TJC: 徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO: 東芝EMI/UV: ユニバーサル ビクター/V: ビクターエンタテインメント/VAP: バップ/VF: ヴェルファーレ/WJ: ワーナーミュージック・ジャパン/XR: ゼロ・コーポレーション/ZA: ズァインレコーズ

■アルバム (23作品)

【邦 楽】

●2ミリオン

First Love/宇多田ヒカル/1999.03.10 (TO)

●トリプル・プラチナ

A Song for ××/浜崎あゆみ/1999.01.01 (AVT)

永遠/ZARD/1999.02.17 (BG)

●ミリオン

THE FORCE/T.M.Revolution/1999.03.10 (AR)

●プラチナ

無罪モラトリウム/椎名林檎/1999.02.24 (TO)

h/hitomi/1999.02.24 (AVT)

STAFF ROLL/野猿/1999.03.10 (AVT)

Strange Fruits/Chara/1999.03.17 (SME)

●ゴールド

PERFECT BEST/X JAPAN/1999.02.24 (EW)

NHK おかあさんといっしょ いっしょにうたおう
大全集40+カラオケ10/茂森あゆみ 他/
1999.03.03 (PC)

HISTORY「502」/サムシング・エルス/
1999.03.17 (TO)

ayu·mi·x/浜崎あゆみ/1999.03.17 (AVT)

【洋 楽】

●プラチナ

ミス・ア・シング/エアロスミス/1998.07.29 (SME)

ヨーヨー・マ ベスト・アルバム/ヨーヨー・マ/
1998.10.01 (SME)

FANMAIL/TLC/1999.03.06 (BMG)

ザ・ボーイズ・マイン/モニカ/1998.08.05 (BMG)

STEP ONE/STEPS/1999.01.01 (AVT)

'99 グラミー・ノミネーズ ポップス/ロック/ブ
ランディ&モニカ 他/1999.02.10 (EW)

ZIP MANIA II/ペット・ショップ・ボーイズ
他/1999.02.17 (TO)

…Baby One More Time/プリトニー・スピアー
ズ/1999.02.24 (AVT)

ペザンツ、ピッグス&アストロノウツ/クーラ・シ
エイカー/1999.02.27 (SME)

ダンスマニア・スピード2/バス・ストップ 他/
1999.03.03 (TO)

13/ブラー/1999.03.08 (TO)

■シングル (27作品)

【邦 楽】

●3ミリオン

だんご3兄弟/速水けんたろう 茂森あゆみ ひまわり
キッズ/1999.03.03 (PC)

●クワダブル・プラチナ

Winter, again/GLAY/1999.02.03 (PO)

●トリプル・プラチナ

snow drop/ラルク・アン・シエル/1998.10.07 (SME)

Movin'on without you/宇多田ヒカル/
1999.02.17 (TO)

●プラチナ

春~spring~/Hysteric Blue/1999.01.21 (SME)

そのスピードで/the brilliant green/
1999.01.27 (SME)

やめないで, PURE/BABY LOVE/KinKi Kids/
1999.02.24 (JE)

Someday, Someplace/Every Little Thing/
1999.03.03 (AVT)

Don't leave me behind/Silent Stream/鈴木あ
み/1999.03.17 (SME)

RESPECT the POWER OF LOVE/安室奈美
恵/1999.03.17 (AVT)

●ゴールド

希望の鐘が鳴る朝に/THE ALFEE/1999.02.03 (TO)

君を想うとき/Oh! Heaven/TOKIO/
1999.02.17 (SME)

曇りのち晴れ/SIAM SHADE/1999.02.24 (SME)

太陽の国へ行こうよ すぐに~空飛ぶ夢に乗って~/
大黒摩季/1999.02.24 (BG)

Be cool!/野猿/1999.02.24 (AVT)

青のじゅもん/春の風/Kiroro/1999.02.24 (V)

マーガレット/CHIAKI & Fruits Flowers/
1999.02.24 (TO)

Love impact/MAX/1999.03.03 (AVT)

Let yourself go, Let myself go/Dragon
Ash/1999.03.03 (V)

SO YOUNG/THE YELLOW MONKEY/
1999.03.03 (FUN)

Joyful/Medicine of Love/DA PUMP/
1999.03.10 (AVT)

Motto/タンポポ/1999.03.10 (EP)

この愛のために/VISION/CHAGE & ASKA/
1999.03.10 (TO)

長いため息のように/the brilliant green/
1999.03.10 (SME)

サヨナラバス/ゆず/1999.03.17 (SN)

COSMIC LOVE/相川七瀬/1999.03.17 (CT)

【洋 楽】

●プラチナ

Eyes On Me featured in Final Fantasy VIII/フ
エイ・ウォン/1999.02.24 (TO)

レコード生産実績

1999年3月度(99年3月1日～99年3月31日)

数量：千枚・巻
単位
金額：百万円

表1. オーディオレコード

	3月実績							1999年(1月～3月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
C 8センチ	邦	12,389	25	93	7,517	11	99	36,742	31	81	22,789	15	85
	洋	152	0	181	98	0	224	302	0	178	184	0	240
	計	12,541	25	93	7,615	11	100	37,044	31	82	22,973	16	85
D 12センチ	邦	28,174	57	147	48,227	71	144	58,699	49	124	92,675	63	115
	洋	6,795	14	76	10,232	15	81	18,206	15	83	27,312	19	87
	計	34,969	71	125	58,459	86	127	76,905	65	111	119,987	82	107
D 小計	邦	40,563	82	125	55,744	82	135	95,441	80	103	115,464	78	107
	洋	6,947	14	77	10,330	15	82	18,508	16	83	27,495	19	87
	計	47,510	96	114	66,073	98	123	113,949	96	99	142,960	97	103
アナログ ディスク	邦	142	0	467	163	0	432	496	0	466	500	0	435
	洋	48	0	216	68	0	225	107	0	185	163	0	207
	計	190	0	361	230	0	340	603	1	367	663	0	342
合計	邦	40,705	82	125	55,906	83	136	95,937	81	104	115,965	79	107
	洋	6,994	14	78	10,397	15	82	18,615	16	84	27,658	19	88
	計	47,700	97	115	66,304	98	123	114,553	96	100	143,623	98	103
カセット テープ	邦	1,684	3	86	1,387	2	90	4,494	4	87	3,562	2	89
	洋	12	0	90	11	0	85	23	0	64	22	0	59
	計	1,696	3	86	1,398	2	90	4,516	4	87	3,584	2	89
総合計	邦	42,389	86	123	57,293	85	134	100,431	84	103	119,527	81	107
	洋	7,006	14	78	10,408	15	82	18,638	16	84	27,680	19	88
	計	49,396	100	113	67,701	100	122	119,069	100	99	147,207	100	103

表2. ビデオレコード

	3月実績						1999年(1月～3月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	755	25	60	2,226	22	74	2,141	29	72	5,289	23	68
テープ	2,213	75	98	7,703	78	112	5,250	71	90	18,015	77	95
合計	2,968	100	84	9,930	100	101	7,391	100	84	23,304	100	87

表3. オーディオ/ビデオ合計

	3月実績						1999年(1月～3月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	49,396	94	113	67,701	87	122	119,069	94	99	147,207	86	103
ビデオ	2,968	6	84	9,930	13	101	7,391	6	84	23,304	14	87
合計	52,364	100	111	77,631	100	119	126,460	100	98	170,511	100	100

<参考>表4. 複合型CD(CD-G、CD-I、CD-ROMなど)

	3月実績						1999年(1月～3月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦盤	19,538	100	114	3,128	100	105	42,635	100	96	7,741	100	103
洋盤	0	0	0	0	0	0	2	0	4	4	0	3
合計	19,538	100	114	3,128	100	103	42,636	100	96	7,745	100	102

備考 1. 本年実績は、会員会社「26社」の集計である。当会員会社が受託した非会員会社が受託した非会員社からの販売委託分を含む
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

オーディオレコード種類別カタログ数構成比

本号は、1998年末現在における各社総目録に掲載されているレコード（オーディオ、ビデオ）の種類別カタログを数を集計し構成比率を图示しました。

図1 オーディオレコード種類別カタログ数構成比

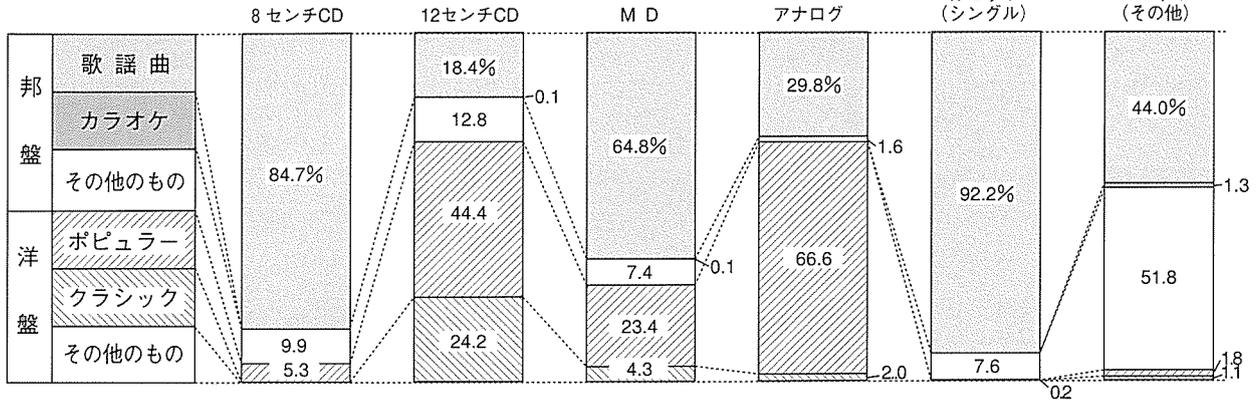


表1 オーディオ/複合型 (CDグラフィックス・CD-I など) レコードカタログ数

単位: カタログ商品のタイトル数

種	類	8センチCD	12センチCD	M D	アナログ	DCC	カセット		複合型		合計
							シングル	その他	CD-G	その他	
邦	歌謡曲	2,664	2,509	11	1	0	3,016	2,160	15	3	10,379
	ポップス	2,225	3,541	97	29	0	638	503	0	15	7,048
	ニューミュージック	5,514	10,913	393	332	7	224	296	30	61	17,770
	小計	10,403	16,963	501	362	7	3,878	2,959	45	79	35,197
盤	軽音楽	19	2,067	6	2	0	4	254	0	10	2,362
	民謡・純邦楽	172	1,053	0	0	0	239	1,385	0	0	2,849
	教育・教材・童謡・童話	198	2,178	3	1	0	10	777	1	27	3,195
	アニメーション	741	3,293	6	2	0	45	342	1	58	4,488
	クラシック	69	1,768	35	7	1	1	65	1	15	1,962
	カラオケ	1	89	1	0	0	1	85	1,272	1,405	2,854
	その他	16	1,484	7	7	0	21	660	0	2,885	5,080
邦盤計	11,619 (102)	28,895 (106)	559 (89)	381 (136)	8 (50)	4,199 (98)	6,527 (102)	1,320 (109)	4,479 (94)	57,987 (103)	
洋	ロック・ディスコ	483	22,363	84	369	0	7	5	0	1	23,312
	ジャズ・フュージョン	9	8,395	15	368	0	0	7	0	1	8,795
	ポピュラーソング	152	7,969	65	59	0	0	65	0	3	8,313
	映画音楽	2	1,108	14	3	0	0	9	0	0	1,136
	その他	5	1,164	3	10	0	0	36	0	0	1,218
洋盤小計	651	40,999	181	809	0	7	122	0	5	42,774	
盤	クラシック	4	22,331	33	24	3	0	75	0	11	22,481
	その他	2	88	0	0	0	0	2	0	1	93
洋盤計	657 (125)	63,418 (101)	214 (52)	833 (181)	3 (5)	7 (54)	199 (94)	0 (0)	17 (33)	65,348 (101)	
合計	12,276 (103)	92,313 (102)	773 (74)	1,214 (164)	11 (13)	4,206 (98)	6,726 (102)	1,320 (109)	4,496 (93)	123,335 (102)	

備考: () 内は対前年比

図2 ビデオレコードカタログ数構成比

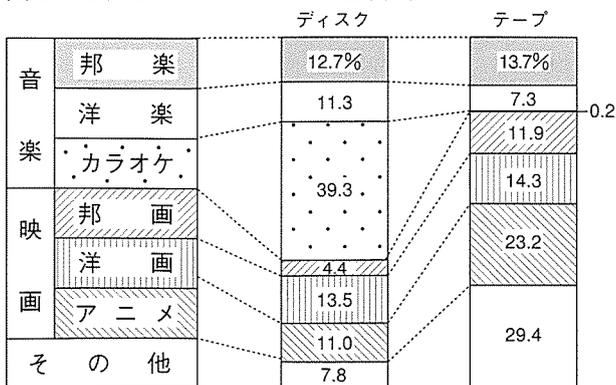
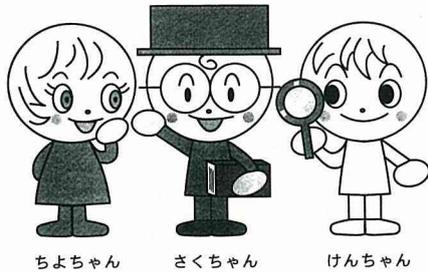


表2 ビデオレコード種類別カタログ数

単位: 枚 (巻)

種	類	ディスク	テープ	合計
音楽	邦楽	2,092	2,603	4,695
	洋楽	1,858	1,394	3,252
	カラオケ	6,476	46	6,522
映画	邦画	731	2,261	2,992
	洋画	2,215	2,712	4,927
	アニメ	1,805	4,399	6,204
その他	1,282	5,582	6,864	
計		16,459 (115)	18,997 (95)	35,456 (103)

備考: () 内は対前年比



著作権法100年

copyright law centennial anniversary

RIA 1999年5月号
Recording Industry Association of Japan

発行人 池口 頌夫
編集人 木村 三郎
発行日 1999年5月10日
発行 社団法人 日本レコード協会
〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル2F
TEL.03-3541-4411 (代)
FAX.03-3541-4460 (代)
URL:<http://www.japan-music.or.jp/>